

【家庭学習の手引】

(低学年)



保護者の皆様へ

室蘭市立〇〇小学校では、本校の児童の学力向上を図るため、過日保護者の皆様へご提示しました学力向上改善プランを基に、この度、「家庭学習の手引」を作成することとしました。

現在、本校においては児童に学習内容が定着できるよう授業改善を中心に学力向上改善プランの具体化を進めているところでありますが、家庭と連携することで、より確かな学力が定着するのではないかと考えております。

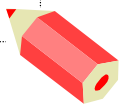
保護者の皆様には、児童と一緒に「家庭学習の手引」をご覧ください、児童の学習習慣や生活習慣の確立のためにご理解とご協力をお願いいたします。

家庭学習の手引を通して育てたい児童の姿

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
- 生活時間の有効な使い方を身につけた児童
(テレビやゲームの時間より、勉強や読書、手伝いの時間の方が多い児童)

平成25年4月

室蘭市立〇〇小学校
校長 〇〇 〇〇



平成 年度 室蘭市立 小学校

☆保護者の皆様へ☆

●家庭学習の目標

目標を持ち、計画的に学習する習慣を身に付ける

◇宿題のほかに復習・予習に取り組む。

◇興味・関心のあることを追及する学習に取り組む。

●学習時間の目安

◇1年生　：　10分以上　　　　　◇2年生　：　20分以上

●学年で身に付けさせたい力

1年生　—家庭学習への習慣づけを—

- ・ひらがな、かたかなの清音が読めて書ける。
- ・助詞（て、に、を、は）を適切に使い分けて文章が書ける。
- ・80字の配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・えんぴつを正しく持って字が書ける。
- ・足し算・ひき算ができる。

2年生　—習慣が定着しはじめる学年—

- ・160字の配当漢字の全てが読め、8割程以上の漢字が書ける。
- ・教科書がすらすら読める。
- ・順序よく話をすることができる。
- ・九九がすらすら言える。
- ・足し算とひき算の筆算ができる。
- ・決められた長さの直線を正しく引ける。

●具体的なことを「みとめ・はげまし」てください。

●「わからない」は「学ぶチャンス」。

しかる材料にしないで下さい。

●「生活の知恵」を伝えて下さい。

☆てい学年のみなさんへ☆

おぼえたつもりのことでも、人はわすれてしまうことがあります。しっかりと
おぼえるためには、おうちでもくりかえしべんきょうすることがたいせつです。
おうちの人とはなしあいながら、時間をきめてべんきょうしましょう。

めあて

●かていがくしゅうのすすめかた

- ①テレビをけしましょう。
- ②べんきょうする時間をきめましょう（おうちの人とはなしあって）。
- ③しゅくだいがあったら、それをしましょう。
- ④もっとべんきょうしたいことがあったら、どんどんじぶんでやってみましょう。
- ⑤おわったら、おうちの人になにをやったか、じまんしましょう。

●もっとべんきょうしたくなったら

こくこ

- ・ひらがなやかたかな、かんじのれんしゅうをしましょう。
 - ☐ ゆっくり、ていねいにかけましたか？
 - ☐ かきじゅんに気をつけましたか？
- ・学校でべんきょうしている、きょうかしよの文をよみましょう。
 - ☐ 大きなこえでよめましたか？

さんすう

- ・学校でならったもんだいを、ノートにもういちどやってみましょう。
 - ☐ まちがったもんだいは、もういちどかんがえましたか？
- ・プリントやドリルをしましょう。
 - ☐ まちがったもんだいは、もういちどかんがえましたか？

家庭での学習習慣をよりよく身に付けるためのチェック表

	チェック項目		1 が つ き	2 が つ き	3 が つ き
子 ど も の チ ェ ッ ク	①	あさごはんをまいにちたべている。			
	②	あさトイレでうんちができています。			
	③	おきるじかんやねるじかんは、まいにちだいたいおなじ。			
	④	かていがくしゅうをするじかんやばしょは、きまっている。			
	⑤	おうちの人にいわれなくても、かていがくしゅうをしている。			
	⑥	ノートのじは、ていねいにかいている。			
	⑦	テレビやゲームのじかんはきめている。			
保 護 者 の チ ェ ッ ク	①	子どもが学習に集中しやすい環境を整えている。			
	②	テレビやゲームなどの時間や使い方について、家庭での約束がある。			
	③	子どものノートやテストなどに定期的に目を通してしている。			
	④	子どものよさをほめるように心がけている。			
	⑤	学校のことを話題にした会話をするように心がけている。			

(◎ : できている ○ : 少しできている △ : がんばろう)

【家庭学習の手引】

(中学年)



保護者の皆様へ

室蘭市立〇〇小学校では、本校の児童の学力向上を図るため、過日保護者の皆様へご提示しました学力向上改善プランを基に、この度、「家庭学習の手引」を作成することとしました。

現在、本校においては児童に学習内容が定着できるよう授業改善を中心に学力向上改善プランの具体化を進めているところでありますが、家庭と連携することで、より確かな学力が定着するのではないかと考えております。

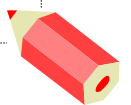
保護者の皆様には、児童と一緒に「家庭学習の手引」をご覧ください、児童の学習習慣や生活習慣の確立のためにご理解とご協力をお願いいたします。

家庭学習の手引を通して育てたい児童の姿

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童
 - 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
 - 生活時間の有効な使い方を身につけた児童
- (テレビやゲームの時間より、勉強や読書、手伝いの時間の方が多い児童)

平成25年4月

室蘭市立〇〇小学校
校長 〇〇 〇〇



平成 年度 室蘭市立 小学校

【家庭学習の手引】

(中学年)



保護者の皆様へ

室蘭市立〇〇小学校では、本校の児童の学力向上を図るため、過日保護者の皆様へご提示しました学力向上改善プランを基に、この度、「家庭学習の手引」を作成することとしました。

現在、本校においては児童に学習内容が定着できるよう授業改善を中心に学力向上改善プランの具体化を進めているところでありますが、家庭と連携することで、より確かな学力が定着するのではないかと考えております。

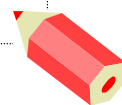
保護者の皆様には、児童と一緒に「家庭学習の手引」をご覧ください、児童の学習習慣や生活習慣の確立のためにご理解とご協力をお願いいたします。

家庭学習の手引を通して育てたい児童の姿

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童
 - 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
 - 生活時間の有効な使い方を身につけた児童
- (テレビやゲームの時間より、勉強や読書、手伝いの時間の方が多い児童)

平成25年4月

室蘭市立〇〇小学校
校長 〇〇 〇〇



平成 年度 室蘭市立 小学校

☆保護者の皆様へ☆

●家庭学習の目標

目標を持ち、計画的に学習する習慣を身に付ける

◇宿題のほかに復習・予習に取り組む。

◇興味・関心のあることを追及する学習に取り組む。

●学習時間の目安

◇3年生　：　30分以上

◇6年生　：　40分以上

●学年で身に付けさせたい力

3年生 ―学習の自立に向けて―

- ・200字の配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・国語辞典を使って言葉を調べられる。
- ・筋道を立ててわかりやすく話したり、書いたりすることができる。
- ・かんたんなわり算ができる。
- ・かけ算の筆算ができる。
- ・重さをはかり、表すことができる。
- ・千万の位までの数を読んだり、書いたりすることができる。

4年生 ―「9才の壁」をのりこえる―

- ・200字の配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・ローマ字の読み書きができる。
- ・国語辞典や漢和辞典を正しく使える。
- ・わり算の筆算ができる。
- ・文章題の意味がわかり、式を立てることができる。
- ・コンパスを使って簡単な図形が描ける。
- ・地名が調べられ、47都道府県を覚えている。

●具体的なことを「みとめ・はげまし」てください。

●「わからない」は「学ぶチャンス」。

しかる材料にしないで下さい。

●「生活の知恵」を伝えて下さい。

☆中学年のみなさんへ☆

おぼえたつもりのことでも、人はわすれてしまうことがあります。何度もくりかえすことで、わすれにくくなります。学校で習ったことをしっかり身に付けるために、くりかえしをいやがらず、家庭学習をしましょう。

めあて

● 家庭学習のすすめかた

- ① テレビをけしましょう。
- ② 勉強する時間を決めましょう。
- ③ 宿題があったら、まずそれをしましょう。
- ④ 自分で勉強したいことを決め、やってみましょう。

● 家庭学習のヒント

国語

- ・ 今習っている漢字や、前に習った漢字を練習しましょう。
□ 止め・はね・はらいに気をつけましたか
□ 書き順に気をつけましたか？
- ・ 教科書の文をすらすら読めるように練習しましょう。
- ・ 国語辞典や漢和辞典で、気になる「言葉」や「漢字」を調べましょう。

算数

- ・ 学校で習った問題を、ノートにもう一度やってみましょう。
- ・ プリントやドリルをしましょう。
□ まちがったもんだいは、もう一度やりなおしをしましょう。
- ・ 自分で問題文をつくって、先生や友だちなど周りの人に出してみましょう。

家庭での学習習慣をよりよく身に付けるためのチェック表

	チェック項目		1 学期	2 学期	3 学期
子どもの チェ ック	①	朝ごはんを毎日食べている。			
	②	朝のはいべんができています。			
	③	起きる時間や寝る時間はだいたい決まっている。			
	④	家庭学習をする時間や場所が決まっている。			
	⑤	お家の人に言われなくても家庭学習に取り組んでいる。			
	⑥	ノートの文字はていねいに行っている。			
	⑦	テレビやゲームの時間は決めている。			
保護者の チェ ック	①	子どもが学習に集中しやすい環境を整えている。			
	②	テレビやゲームなどの時間や使い方について、家庭での約束がある。			
	③	子どものノートやテストなどに定期的に目を通している。			
	④	子どものよさをほめるように心がけている。			
	⑤	学校のことを話題にした会話をするように心がけている。			

(◎ : できている ○ : 少しできている △ : がんばろう)

【家庭学習の手引】

(高学年)



保護者の皆様へ

室蘭市立〇〇小学校では、本校の児童の学力向上を図るため、過日保護者の皆様へご提示しました学力向上改善プランを基に、この度、「家庭学習の手引」を作成することとしました。

現在、本校においては児童に学習内容が定着できるよう授業改善を中心に学力向上改善プランの具体化を進めているところでありますが、家庭と連携することで、より確かな学力が定着するのではないかと考えております。

保護者の皆様には、児童と一緒に「家庭学習の手引」をご覧ください、児童の学習習慣や生活習慣の確立のためにご理解とご協力をお願いいたします。

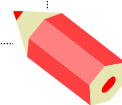
家庭学習の手引を通して育てたい児童の姿

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
- 生活時間の有効な使い方を身につけた児童

(テレビやゲームの時間より、勉強や読書、手伝いの時間の方が多い児童)

平成25年4月

室蘭市立〇〇小学校
校長 〇〇 〇〇



平成 年度 室蘭市立 小学校

☆保護者の皆様へ☆

●家庭学習の目標

目標を持ち、計画的に学習する習慣を身に付ける

◇宿題のほかに復習・予習に取り組む。

◇興味・関心のあることを追及する学習に取り組む。

●学習時間の目安

◇5年生　：　50分以上

◇6年生　：　60分以上

●学年で身に付けたい力

5年生　一学力に差がつく分岐点一

- ・185字の配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。
- ・小数のかけ算・わり算ができる。
- ・分母が同じ分数の足し算・引き算ができる。
- ・割合・百分率を使った問題が解ける。
- ・47都道府県の位置がわかり、正しく書ける。

6年生　一中学校の学習に向けて一

- ・小学校で習得すべき漢字の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・分数・小数の足し算や引き算・かけ算・わり算ができる。
- ・様々な文章の内容をとらえながら、読むことができる。
- ・歴史上の事件や人物について、だいたいわかる。
- ・世界の主な国々の位置を、正しく示すことができる。
- ・理科の基本的な原理や法則が分かり、実験器具の正しい使い方を知っている。

●具体的なことを「みとめ・はげまし」てください。

●「わからない」は「学ぶチャンス」。

しかる材料にしないで下さい。

●「生活の知恵」を伝えて下さい。

☆高学年のみなさんへ☆

学校で覚えたつもりになっても、忘れてしまうのがふつうです。しかし、同じことをくり返すことで、忘れにくくなります。みなさんの年れいは、何でも吸収できる時期にあたります。自分の能力を、思いっきりのばしてみましょう。

めあて

●家庭学習のすすめかた

- ①テレビをけしましょう。
- ②勉強する時間を決めましょう。
- ③宿題があったら、まずそれをしましょう。
- ④自分で必要だと思う勉強や、やってみたい勉強を決め、やってみましょう。

●家庭学習のヒント

国語

- ・今習っている漢字や、前に習った漢字を練習しましょう。
□止め・はね・はらいに気をつけましたか □書き順に気をつけましたか？
- ・教科書の文をすらすら読めるように練習しましょう。
- ・国語辞典や漢和辞典で、気になる「言葉」や「漢字」を調べましょう。
- ・日記や作文、詩や俳句など、自分の思いや考えを文に表してみましょう。

算数

- ・学校で習った問題を、ノートにもう一度やってみましょう。
- ・プリントやドリルをしましょう。
□まちがった問題は、もう一度やり直しをしましたか？
- ・自分で問題文をつくって、先生や友だちなど周りの人に出してみましょう。

社会・理科

- ・教科書・資料集、地図帳や年表・図鑑などを見て、興味のあることを書き写したり、自分でまとめたりしましょう。

家庭での学習習慣をよりよく身に付けるためのチェック表

	チェック項目		1 学期	2 学期	3 学期
子どもの チェ ック	①	朝ご飯を毎日食べている。			
	②	朝の排便ができています。			
	③	起きる時間や寝る時間はだいたい決まっている。			
	④	家庭学習をする時間や場所が決まっている。			
	⑤	お家の人に言われなくても家庭学習に取り組んでいる。			
	⑥	ノートの文字はていねいに書いている。			
	⑦	テレビやゲームの時間は決めている。			
保護者の チェ ック	①	子どもが学習に集中しやすい環境を整えている。			
	②	テレビやゲームなどの時間や使い方について、家庭での約束がある。			
	③	子どものノートやテストなどに定期的に目を通している。			
	④	子どものよさをほめるように心がけている。			
	⑤	学校のことを話題にした会話をするように心がけている。			

(◎ : できている ○ : 少しできている △ : がんばろう)

【家庭学習の手引】

平成 年度 室蘭市立 中学校

保護者の皆さまへ

室蘭市立〇〇中学校では、本校の生徒の学力向上を図るため、過日保護者の皆様へご提示しました学力向上改善プランに基づき、この度、「家庭教育の手引」を作成することとしました。

現在、本校においては生徒に学習内容が定着できるよう授業改善を中心に学力向上改善プランの具現化を進めているところではありますが、家庭と連携することで、より確かな学力が定着するのではないかと考えております。

保護者の皆様には、生徒と一緒に「家庭教育の手引」をご覧いただき、生徒の学習習慣や生活習慣の確立のためにご理解とご協力をお願いいたします。

家庭教育の手引を通して育てたい生徒の姿

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた生徒
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた生徒
- 生活時間の有効な使い方を身につけた生徒(テレビやゲームの時間より、勉強や読書、手伝いの時間が多い生徒)

平成25年4月

家庭学習の目標

目標を持ち、計画的に学習する

習慣を身に付けよう。

- 宿題のほかに予習・復習をしよう。
- 興味・関心のあることを追求する学習にも取り組もう。

家庭学習時間の目安

家庭での学習習慣をよりよく身につけるためのチェック表

	チェック項目	1学期	2学期	3学期
生徒用	① 日ごろから新聞を読んだり、読書をしている。			
	② 8時間程度、睡眠時間をとっている。			
	③ 毎日かかさず、朝食をとっている。			
	④ 机やテーブルの上など、学習する場所を整理整頓してから学習を始めている。			
	⑤ 学習が終わったら、きちんと片づけをしている。			
	⑥ テレビや音楽、携帯電話などを消し、集中して学習できる環境づくりをしている。			
	⑦ 家庭学習を行う時間帯や場所がだいたい決まっている。			
	⑧ 宿題がなくても、言われる前に自分から進んで家庭学習をしている。			
	⑨ 学習時間は、「自分の学年×1時間」を目安に学習している。			
	⑩ 自分に必要な学習内容を考え、計画的に学習している。			
	⑪ ノートの文字は丁寧に書いている。			
	⑫ ノートは余白を十分にとり、解説やメモを書き込むなど工夫している。			
	⑬ 分からないことをそのままにせず、自分で調べたり質問したりしている。			
	⑭ 答え合わせや間違い直しなど、学習の振り返りを行っている。			
	⑮ 家庭学習でも音読や図・イラストにまとめるなど、活動や作業を取り入れている。			
保護者	A 子どもが学習に集中しやすい環境を整えようとしている。			
	B TVやゲーム、PC、携帯電話の使用の仕方について、家庭での約束がある。			
	C 子どもの学習の様子を定期的に見たり、ノートやワークなども目を通している。			
	D 子どもと学習や進路について、話題にしたりしている。			

《 中学生 》 学年+1 時間程度

1 年生 1～2 時間

2 年生 2～3 時間

3 年生 3～4 時間



1 生活習慣の見直し

(1) リズムある生活を送ろう

- ① 早寝早起きの習慣を身に付ける。
- ② 朝食を毎朝、しっかりとる。
- ③ 適度な運動を実践する。
- ④ テレビやゲーム、携帯電話の使用に、一定のルールをつくる。



(2) 毎日、必ず机に向かう努力をしよう

- ① 毎日、自分の意思で机に向かう習慣を作る。
- ② できるだけ学習時間帯を固定化する。
- ③ 机上の整理整頓をする。



(3) 本に親しもう

- ① 食後や就寝前に読書に心がける。
- ② 学校図書室等をおおいに利用する。

(4) 睡眠時間と休憩の取り方を意識しよう

- ① 深夜までの勉強は、極力避ける。
- ② 睡眠時間をしっかり確保する。
- ③ 長時間の学習では適度の休憩をはさむ。



(5) 授業を大切にしよう

- ① 毎日の授業を大切にする。
- ② 先生に遠慮なく質問する。

2 効果的な学習法

(1) 目標・計画を立てる

目標や目的がないままの学習では、なかなか自分のものになりません。勉強させられているという気持ちが強くなりがちです。自分なりの目標を持ち、計画的に取り組みましょう。

◇ 学習計画 1

◇ 学習計画 2

目標	

	午後4時	5	6	7	8	9	10	11	12
部活のある日									
部活のない日									
祝祭日・土日									

午前8時

午後12時

12時

(2) 教材の選び方（参考書・問題集）

まずは自分の学力にあったものを選ぶことが重要です。自分で手にとって分かりやすいと感じる教材を選びましょう。基本的には1教科1教材で十分です。しかし、教材を増やす前にまずは、学校の授業で使用している教材を徹底的に取り組みましょう。



(3) ノートの工夫・活用法

① 文字は大きく、丁寧に書きましょう。

② 行間等の工夫

あまりつめすぎないこと。行間や余白を多めにとると、読みやすくなります。

③ 色や図の活用

文章だけがつまっていると、意欲が低下することもあります。上手に色や図を入れてみるのも良いでしょう。ただし、色の使いすぎには注意しましょう。どこが重要なところかわかりにくくなったり、ポイントがずれてしまったりすることがあります。

数学などで途中式や間違った部分は、あえて残すようにしましょう。

6.18.水 日本国憲法 (日本の憲法なのに英語で書かれている) ○日本国憲法の基本原理(P.38~P.39) 公布 1946年11月3日 施行 1947年5月3日 ☆3つの基本原理(重要) 国民主権 基本的人権の尊重 平和主義 「覚えろ」といわれた! コメントを残しておく、後でそのときの光景を思い出せるよ 国民主権...国の政治の決定権は国民が持ち、政治は国民の意思のもとづくという原理 ☆天皇 主権者ではない → 日本国と国民の統合の象徴 憲法の定める国事行為のみ行う 内閣の助言と承認が必要 ポイントは枠で囲って見やすく工夫しよう	○日本の平和主義(P.40~P.41) 第9条 ①戦争しない ②戦力持たない 平和主義 → 戦争の放棄、世界の恒久平和のために努力 → 戦力を持たず、交戦権を認めない → 一切の戦争(武力の行使・威嚇)放棄 自衛隊(1954)「これってどーなの?」論争 日米安保条約(1951) 2003年 有事法制関連法 核兵器 持たず 作らず 持ち込ませず 非核三原則 強調したいポイントは、2行使って大きな字で!!
---	---

★ノートは人に見せるためにきれいに書くのではありません。知識を整理し、理解しやすくするために作ります。

★多くの色を使ってきれいに書くことやまとめるのに時間を費やし過ぎないように

(4) 記憶の仕方・方法

① 記憶するには繰り返し復習することが必要です。反復するまでの時間が早いほど記憶は強く残ります。

② 見るだけでなく、書いたり、声に出すことも効果的です。

③ 全体との関連の中で、イメージを持って覚えることが効果的です。

例えば歴史上の人物を覚える時に、年代はもちろん、時代背景、国の様子等を理解して関連づけて覚えることで、より記憶が強くなります。

◎ 例えば、10個のことを学習して、10個全部をすべて記憶に残すことは難しいでしょう。学習した内容を記憶として定着させるためには毎日の学習が必要です。勉強時間は個人差もありますので、0時間の勉強で十分とは言い切れません。まずは毎日机に向かい、反復することで記憶の定着度を高めましょう。

3 教科ごとの学習方法についてチェックしてみよう

教科	No.	学 習 方 法	1 学 期	2 学 期	3 学 期
国 語	①	教科書を音読し、漢字や意味のわからない言葉を確認する。			
	②	新出漢字の読み方・書き取りを練習する。			
	③	授業で説明を受けた大切なところをノートにまとめ直す。			
	④	新聞のコラム欄などを読み、要約したり感想を書いて自分で読見直してみる。			
	⑤	ワークや問題集などで学習内容を確認する。			
数 学	①	教科書の例題を解き直し、わからないところをチェックしておく。			
	②	計算問題を途中の計算式も書きながら、15問以上解く。			
	③	授業で習った問題で間違った問題を選んで、もう一度解き直す。			
	④	間違った問題と同じような問題を教科書やワークから探して解			

		いてみる。			
	⑤	応用問題にも積極的に挑戦し、数多く問題に触れる。			
社 会	①	教科書を音読し、資料や地図帳などと合わせながら確認する。			
	②	学習したこと（用語・年表・図など）をノートに整理する。			
	③	図やグラフ、資料からわかることをわかりやすく書き出してみる。			
	④	新聞やニュースを見て、世の中の出来事に関心や自分の意見・考えを持つ。			
	⑤	「いつ・どこで・誰が・何を・どうして・その結果」を関連づけて覚える			
理 科	①	教科書の太字の言葉を書き出し、用語集を作って言葉を覚える。			
	②	授業で習った内容に図や表、用語を書き入れてわかりやすくまとめる。			
	③	実験の「目的」「装置」「結果」「結果からわかること」をまとめる。			
	④	計算問題や作図問題などを繰り返し解く。			
	⑤	表などから出題される計算問題、説明などの記述問題を繰り返し解く。			
英 語	①	教科書を何度も繰り返し音読する。			
	②	新出単語の意味を調べて、繰り返し書いたり、熟語なども書き出してみる。			
	③	授業で習った文法などを確認しながら、ノートにまとめる。			
	④	長文のおおまかな意味が理解出来るまで繰り返し読んだり、文法を確認する。			
	⑤	ワークなどの問題集で文法や英作文、書き換え問題など繰り返し解く。			

（ ◎:できている ○:少しできている △:頑張ろう ）